

団体加入36団体

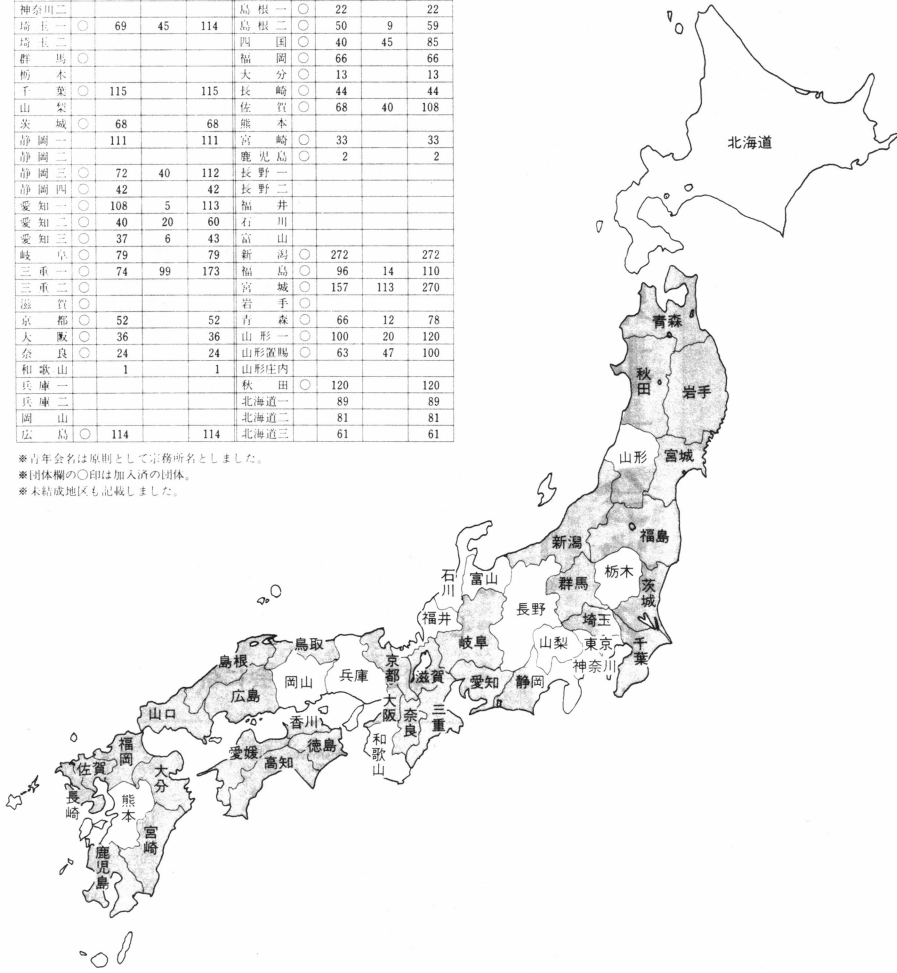


発行所
曹洞宗青年会
〒105 東京都港区三軒丸の内
2-3-5 曹洞宗三軒丸の内会館
発行責任者 岡田隆志
TEL03-454-54110

青年宗侶のエネルギーを結集しよう
社会的価値ある活動をしよう
青年宗侶の自覚を促そう
地域における活動の連携を深めよう

青年会名	団体	正会員	賛助会員	合計	青年会名	団体	正会員	賛助会員	合計
東奈	○				山口	○	64		64
神奈川一					山島	○	47	36	83
神奈川二					島根一	○	22		22
埼玉一	○	69	45	114	島根二	○	50	9	59
群馬	○				四国	○	40	45	85
群馬馬本	○				福分	○	66		66
栃木	○				大分	○	13		13
千葉	○	115		115	佐崎	○	44		44
茨城	○	68		68	佐賀	○	68	40	108
茨城一	○	111		111	熊本	○			
静岡一	○				鹿島	○	33		33
静岡二	○	72	40	112	鹿島	○	2		2
静岡三	○	42		42	長野一	○			
静岡四	○	108	5	113	長野二	○			
愛知一	○	40	20	60	福井	○			
愛知二	○	37	6	43	石川	○			
愛知三	○	79		79	富山	○	272		272
岐阜一	○	74	99	173	新潟	○	96	14	110
三重一	○				島城	○	157	113	270
三重二	○				宮崎	○			
滋賀	○	52		52	岩手	○			
京都	○	36		36	青森	○	66	12	78
大阪	○	24		24	山形一	○	100	20	120
奈良	○	1		1	山形藤内	○	63	47	100
和歌山	○				山形庄内	○			
兵庫一	○				秋田	○	120		120
兵庫二	○				北海道一	○			89
岡山	○				北海道二	○			81
広島	○	114		114	北海道三	○			61

*青年会名は原則として宗務所名としました。
*団体欄の○印は加入済の団体。
*未精成地区も記載しました。



目次

山口県萩で、神の集い研修	3
各地の動き	4
研修「青年宗侶語る」	5
此寺に和尚あり	6
インタビュー 花崎みさをさん	7
日程変更 スリランカ仏教遺跡研修の旅	8

破草鞋

◎曹青通信44号特集号の破草鞋を読んでもうた某師より感謝の電話をいただいた。此の号の筆者、実は新進気鋭あふれる青年宗侶であった。◎電話の声に促されて二度三度読みかえしをさせていたのだ。熟読玩味の言葉通り、筆者の真実さが伝わってきた。佛典はもよりのこと、祖録を大事大切にされる日常底に、明頭させていたのだ。◎時は一向にすすくとのみ計功して、未到と解せず。の高祖大師様の御言葉に、多きを期待し、さらさら金曹加入者全員の座右銘たらん事をねがうのである。◎子供の受験が判明して学校へ夫婦共々呼び出された親がいた。その夜、次の夜も子供に何一つうらみがましい事は云わず此もなかった。子供の方が不安になった。何かあるのであらうか。◎そこで父親がはじめて口を開く。おとうさんたちは、おまに感謝している。たしかに良くない事ではあったが、父さんたちに君に対する大きな思い出をつくられたし、生きる喜びを君がつくれたと思ってる。喜びばかりが親子の愛情でもあるまい。喜怒哀楽と云う言葉があるではないか。◎子供は、はた目にも見まがえる程かわった。大きく成長した。おまにに家が面白い程伸びに伸びていると云う。◎明け、時間と云うか、修証義の御心を見事に実証された云うべからうか。◎朝日の天声人語は松原参道師の語をひいて、君よ見たまえて、親と云う字を。立木には、はり見ていると云う。立木に、まんせんと子供を見る者は親の資格がないと極言してくれている◎筆者交代をねがいで許されることになった。感謝しながら筆をおかせてもらう。

山口県萩市で開催

ソフトボール大会各地で計画

後期「禅の集い研修」は

全曹青では各曹青の主催する「禅の集い」の充実を図るべく「禅の集い研修」を催している。今年後期には三会場が予定されているが、今回は山口曹青の所管で「人間の行動」を探るとして、「カウンスリング入門」をテーマに開催することになった。(別記事内参照)

また、昨年より補助事業となったソフトボール大会も各地で予定されているので積極的に参加いただきたい。

九州曹青

ソフトボール大会は熊本で

長崎曹青の「お褒姿を縫う会」(因縁青の「禅に親しむ会」、佐賀曹青の「因縁会」など)エニクな会がこの秋予定されている。なお、昨年好評だった「カレンダー」は今年も作成される。

熊本曹青 紫安達純会長

ソフトボール大会開催を引き受け準備に追われている。昨年は四チームで大会が開催したが、今回は八チーム以上、一五〇名の大参加を予定している。

十月十五日
会場 熊本市 県民運動公園

中国曹青

ポランティア会

愛の古着キャンペーン

第九回の大会を控えて各曹青間の連絡も密になって来た。十月十一日ごろには連絡協議会を開催し細を決定する。

大会担当の山口曹青は十月早々にSVA(曹洞山ポランティア会)に協力しての「古着キャンペーン」(古着を集めて、カンボジア難民地区に送る)も計画されており熱心にあふれた毎日である。

島根石見曹青(水戸勝徳会長)

他宗派青年会も参加

ソフトボール大会に先き立ち十月一、二日に石見曹青の所轄で開催する。観戦会も予定され準備にわたっている。浄土宗からも参加が予定され、中国管区教化センターからはカップの提供がある。

会場 益田市 大和紡グラウンド



四国曹青

今年度大会は高知で

去る九月十五日、協議会を開催し今年

度の大会は高知開催と決定した。日時は二月二十九日・三月一日の予定。内容等については開催要領の特色を出すこととして詳細未定。

関東曹青

十月一日に連絡協議会を業務所で開催。関東大会について検討する。昨年は小田原でソフトボール大会を開いたが、今年は新加入の群馬曹青などからも積極的な参加が得られそうとのこと。

「東北大会迫る」

東北曹青

第十回大会迫る

青森曹青(太田弘基会長)担当の東北大会は十月八、九日に開催され、講師との最終打ち合せ等に追われている。この地区は毎年の大会で、また、青森曹青は二度目とあって準備万端とのこと。

すでに来年度は「福島曹青」と決まっている。

宮城曹青(我妻博道会長)

去る八月五日の集中豪雨の被害は意外に大きく、現在も県内各地で復旧もままな

全曹青主催

ご案内

後期禅の集い研修

心を探る……カウンスリング入門

第9回中国大会に併せて開催

全国曹洞宗青年会では各地の禅の集いをはじめとする曹青運動の研修面の援助支援を行なうべく、「禅の集い研修」を開催しております。今回は中国地区曹青の全面協力を得て「人間の行動心理」などの研修会を開催いたしますことになりました。ここにご案内いたしますので多数ご参加下さいますようお願いいたします。なお、今回は第九回中国大会に併せて開催いたします。

記

日時 昭和六十一年十一月十二日 受け付け 正午
会 場 山口県 萩市 北谷町 亨徳寺
研究内容 カウンスリング入門
講師 広島大学総合科学部 上里一郎 教授
カウンスラー 武安よし先生
申し込み/事務局 山口県曹洞宗曹青青年会事務局 飯倉寺内
山口県曹洞宗曹青青年会事務局 吉川俊雄
費 費 一〇〇〇円 (宿泊費込み)
全国曹洞宗青年会会長 吉岡 棟 憲
中国曹洞宗青年会会長 鈴木 章 純
実行委員長 山口県曹洞宗青年会会長 久 楽 宗 哲

北信越曹青

スキー地蔵尊建立

長野第一曹青の江沢一連(一連)員(飯山市)の高源寺ではスキーシーズンを前に、スキー地蔵尊建立を發願。観光客、地元業者の協賛を得て十月二十四日に開眼法要を執行する。

この地は、民宿發生の地としても知られ、高源寺でも開發して好景である。会員からの問合せを心待ちにしている。

北海道曹青

宗政を考える

去る六月九日(両日)にわたり苫小牧中央院を会場に第九回の大会を第二宗務所青年会(押見正会長)担当で開催した。

今回はテーマに「青年宗信」として宗

政とは何か」と題し、道選出の宗議を招き座談会を開催した。

「宗門の体質は青年宗信が自由闊達に発言できぬ古い土壌、封建的体質が温存されていると指摘するむきがありますが、むしろそれはわたくし達青年宗信の態度、姿勢がゆえに起るという。……」を出發点に「駒沢大学」の現況、「いじめ問題」と宗門の対応」など様々な問題が提起検討された。出席の宗議等からは積極的の発言答弁が続き、宗門の課題に全員でたる必要性が改めて感じられた。

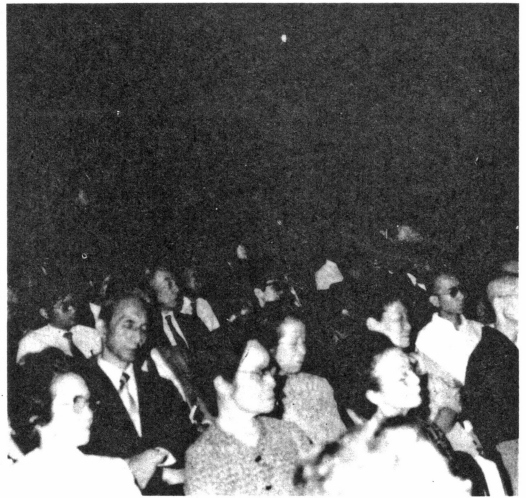
討議内容は印刷されて道内会員に配布された。

全日本曹洞宗青年会 第九回中国大会 後期「禅の集い」研修会 開催のご案内

今、この秋を「禅の集い」研修会とさせていただきます。

「宗政について」(議題)

宗議 飯倉 亨徳 萩市 亨徳寺
上里 一郎 広島大学総合科学部
武安 よし 山口県曹洞宗曹青青年会事務局
飯倉 寺内
吉岡 棟 山口県曹洞宗曹青青年会事務局
鈴木 章 中国曹洞宗青年会事務局
久 楽 宗 山口県曹洞宗曹青青年会事務局



研修

詩偈と禪 (六) 山口晴通

今回より、対句の法について述べることにする。四六文を活用した年回香語や、乗拒香語を理解するための布石である。我々は平生、無意識のうちに、さまざまな形で対句に遭遇しているのである。たとえば、左の権信徒儀法の回向文である。

- (A) 慧鏡分輝 眞風彫彩
- (B) 菩提園裡 開教覽章之華
- (C) 茶烟爨 法性海中 活動無量之波
- 香熱 檀栴

- 首聯 雲流幽邃地 雲流る幽邃の地
- 山瘦晚涼侵 山瘦せて晩涼侵す
- 路転樺村遠 路転して樺村遠く
- 溪廻竹寺深 溪廻りて竹寺深く
- 頷聯 講堂僧語息 講堂僧語息み
- 趺坐磬声沈 趺坐磬声沈む

- 首聯 半偈親看取 半偈親しく看取せよ
- 悟空雲水徒 空を悟る雲水の徒
- 超禪臨濟喝 禪を越ゆ臨濟の喝
- 證果趙州無 果を證す趙州の無

- 頷聯 晴景千山闊 晴景千山闊く
- 春風万象殊 春風万象殊なり
- 香魂何処聞 香魂何れの処にか問わん
- 不覺我忘吾 不覺せず我吾を忘る

してみると、(A)(B)(C)のグループは、おの右側の語句と左側の語句とが、対句仕立てでの美しい文聯になっていることがわかる。この対句の法を得るには律詩を読むとい。まず、筆者の五言律詩を読めて説明してみよう。

雨後秋將暮 雨後秋將に暮れんとし
風清物外心 影清し物外の心
律詩では四つの聯のなかで、中央部分の頷聯と頸聯とは対句にならなければならない。すなわち頷聯では「路転して」にたいして「溪廻る」「樺村」にたいして「竹寺」「遠く」にたいして「深」という工合である。頷聯の「講堂」と「趺坐」、「僧語息」と「磬声沈」も同様である。

右の詩は、平起式、下平二侵の韻一秋日訪山房と題したものである。対句の部分の理解しやすいものを、もう一首あげてみる。

中央一聯が対句になっていることを、わかり易く説明するために、拙い筆者の五言律詩を例にあげたものである。したがって、古人の名句によって参究することが肝要である。それには「唐詩選」および「三昧詩」におきまして、漢および七言律詩を熟読することである。最近では、単行本を出版されている、漢詩関係の書籍が数出版されています。漢の自己の好みも含めての選択して、日頃、座右におくことが大切である。

動しており、否定するものはない。性(一切の衆性は悉く仏性有りという)の教えはこういふことかと思ひ、身と心を調えて先祖のおししとあり坐ることこそ、唯一それを実践することであり、この坐禅について道元禪師は「超直入如来地坐った地座に仏様の境涯」

「坐禅を手れば自然によくなるなり」という一面をおししています。そこには個人的なほかりで肯定したり否定したりする余地はありません。ところがこういふ「た」親切なるおししにもかからず日常生活の中において、お互い好き嫌いや善悪の判断にふりまわされて四苦八苦しいるのが人間性というものです。

度よりさらに悪くなった」とか、「それでも少しは良い方だ」とか思っているものが「皆んは生きてゐるなあ」と感じるわけです。よく世間で「物事は良い方に解釈せねばいけない」といいますが、そんな消極的なことではなく、彼らは実は私と一緒に坐つてくれる。私の坐禅の仲間であつたということ。そうなる

と、坐禅を組むという実践の型をとる禅という悠久のいのちの在り方は、さらに言葉で代えていうなら、天地宇宙のルールという真実は西からは登らぬ山、目が覚めたら昨夜の雨は天に向かつて降つて来たといふようなことは決してなく唾を吐くにしても、天に向かつて吐けば必ず落ちてくるというものであり、そのことを行持の中で知り、身につけてもらったことが大切でありました。緊張と不安の入り交つた眼差しで参加してきた研修者達が、足が痛かろうが痛かろうが理屈を越えて坐り、雑巾がけをしても板の目に添つて拭くという中にも知らず、風呂に入つても一度に十人くらい入れる風呂が四百五十人入つた初日など垢と油と抜毛などを惨憺たる有様であつたり、手洗いのスリッパは脱ぎ散らかし放題、それが、食事は正座をしていただくため、足の痛みからなんとも情無くなるような姿で「地獄の食卓時間」といながらもしかりと、御飯が足らなくなるほど食へ、時の経過と共にそれなりに調つていく情況は、最終日会社側の期待に添える以上に、何故かラララと光る研修者を見送る時、最初人思惑ではなかったことである、最初に迷へた「一切衆生悉く有仏性」といふいのちの働きを信しました。

以上のごとは単に入念感(観)というより、仏様との出逢いであり、信仰の深まりでありました。最後に、この仏様は、何時でも何処でも、誰れでも彼れでも、貴方も私も、苦しい時も楽しい時も、病気の時も健康の時も、もういよいよ仏も信じるものかと思つた時も、こののちは仏様より信じてほしい。仏様と一緒に坐つてくださる。多くの方が坐禅との縁を深めていただくことを願つておわりにします。

私は十年前前から、広島県内企業の新入社員研修会に坐禅をととの研修の方を手伝いさせていたしております。今思ひますに当初はまるで運動部の先輩よろしく随分と気合を入れており、顔が赤くなる思いがします。会社側からすれば成果が上がらなければならぬわけですから、それこそなせようとするわけ。おひさのせいであるわけ。この二、三年は新人類と表現される若者は、人事担当者にとつても扱いはく、面が多分であり、仕事上の指導もむすかしく、一層研修会の役割が重要になって

「坐禅を組む」という実践の型をとる禅という悠久のいのちの在り方は、さらに言葉で代えていうなら、天地宇宙のルールという真実は西からは登らぬ山、目が覚めたら昨夜の雨は天に向かつて降つて来たといふようなことは決してなく唾を吐くにしても、天に向かつて吐けば必ず落ちてくるというものであり、そのことを行持の中で知り、身につけてもらったことが大切でありました。緊張と不安の入り交つた眼差しで参加してきた研修者達が、足が痛かろうが痛かろうが理屈を越えて坐り、雑巾がけをしても板の目に添つて拭くという中にも知らず、風呂に入つても一度に十人くらい入れる風呂が四百五十人入つた初日など垢と油と抜毛などを惨憺たる有様であつたり、手洗いのスリッパは脱ぎ散らかし放題、それが、食事は正座をしていただくため、足の痛みからなんとも情無くなるような姿で「地獄の食卓時間」といながらもしかりと、御飯が足らなくなるほど食へ、時の経過と共にそれなりに調つていく情況は、最終日会社側の期待に添える以上に、何故かラララと光る研修者を見送る時、最初人思惑ではなかったことである、最初に迷へた「一切衆生悉く有仏性」といふいのちの働きを信しました。

「坐禅を組む」という実践の型をとる禅という悠久のいのちの在り方は、さらに言葉で代えていうなら、天地宇宙のルールという真実は西からは登らぬ山、目が覚めたら昨夜の雨は天に向かつて降つて来たといふようなことは決してなく唾を吐くにしても、天に向かつて吐けば必ず落ちてくるというものであり、そのことを行持の中で知り、身につけてもらったことが大切でありました。緊張と不安の入り交つた眼差しで参加してきた研修者達が、足が痛かろうが痛かろうが理屈を越えて坐り、雑巾がけをしても板の目に添つて拭くという中にも知らず、風呂に入つても一度に十人くらい入れる風呂が四百五十人入つた初日など垢と油と抜毛などを惨憺たる有様であつたり、手洗いのスリッパは脱ぎ散らかし放題、それが、食事は正座をしていただくため、足の痛みからなんとも情無くなるような姿で「地獄の食卓時間」といながらもしかりと、御飯が足らなくなるほど食へ、時の経過と共にそれなりに調つていく情況は、最終日会社側の期待に添える以上に、何故かラララと光る研修者を見送る時、最初人思惑ではなかったことである、最初に迷へた「一切衆生悉く有仏性」といふいのちの働きを信しました。

「坐禅を組む」という実践の型をとる禅という悠久のいのちの在り方は、さらに言葉で代えていうなら、天地宇宙のルールという真実は西からは登らぬ山、目が覚めたら昨夜の雨は天に向かつて降つて来たといふようなことは決してなく唾を吐くにしても、天に向かつて吐けば必ず落ちてくるというものであり、そのことを行持の中で知り、身につけてもらったことが大切でありました。緊張と不安の入り交つた眼差しで参加してきた研修者達が、足が痛かろうが痛かろうが理屈を越えて坐り、雑巾がけをしても板の目に添つて拭くという中にも知らず、風呂に入つても一度に十人くらい入れる風呂が四百五十人入つた初日など垢と油と抜毛などを惨憺たる有様であつたり、手洗いのスリッパは脱ぎ散らかし放題、それが、食事は正座をしていただくため、足の痛みからなんとも情無くなるような姿で「地獄の食卓時間」といながらもしかりと、御飯が足らなくなるほど食へ、時の経過と共にそれなりに調つていく情況は、最終日会社側の期待に添える以上に、何故かラララと光る研修者を見送る時、最初人思惑ではなかったことである、最初に迷へた「一切衆生悉く有仏性」といふいのちの働きを信しました。

「坐禅を組む」という実践の型をとる禅という悠久のいのちの在り方は、さらに言葉で代えていうなら、天地宇宙のルールという真実は西からは登らぬ山、目が覚めたら昨夜の雨は天に向かつて降つて来たといふようなことは決してなく唾を吐くにしても、天に向かつて吐けば必ず落ちてくるというものであり、そのことを行持の中で知り、身につけてもらったことが大切でありました。緊張と不安の入り交つた眼差しで参加してきた研修者達が、足が痛かろうが痛かろうが理屈を越えて坐り、雑巾がけをしても板の目に添つて拭くという中にも知らず、風呂に入つても一度に十人くらい入れる風呂が四百五十人入つた初日など垢と油と抜毛などを惨憺たる有様であつたり、手洗いのスリッパは脱ぎ散らかし放題、それが、食事は正座をしていただくため、足の痛みからなんとも情無くなるような姿で「地獄の食卓時間」といながらもしかりと、御飯が足らなくなるほど食へ、時の経過と共にそれなりに調つていく情況は、最終日会社側の期待に添える以上に、何故かラララと光る研修者を見送る時、最初人思惑ではなかったことである、最初に迷へた「一切衆生悉く有仏性」といふいのちの働きを信しました。

「坐禅を組む」という実践の型をとる禅という悠久のいのちの在り方は、さらに言葉で代えていうなら、天地宇宙のルールという真実は西からは登らぬ山、目が覚めたら昨夜の雨は天に向かつて降つて来たといふようなことは決してなく唾を吐くにしても、天に向かつて吐けば必ず落ちてくるというものであり、そのことを行持の中で知り、身につけてもらったことが大切でありました。緊張と不安の入り交つた眼差しで参加してきた研修者達が、足が痛かろうが痛かろうが理屈を越えて坐り、雑巾がけをしても板の目に添つて拭くという中にも知らず、風呂に入つても一度に十人くらい入れる風呂が四百五十人入つた初日など垢と油と抜毛などを惨憺たる有様であつたり、手洗いのスリッパは脱ぎ散らかし放題、それが、食事は正座をしていただくため、足の痛みからなんとも情無くなるような姿で「地獄の食卓時間」といながらもしかりと、御飯が足らなくなるほど食へ、時の経過と共にそれなりに調つていく情況は、最終日会社側の期待に添える以上に、何故かラララと光る研修者を見送る時、最初人思惑ではなかったことである、最初に迷へた「一切衆生悉く有仏性」といふいのちの働きを信しました。

「坐禅を組む」という実践の型をとる禅という悠久のいのちの在り方は、さらに言葉で代えていうなら、天地宇宙のルールという真実は西からは登らぬ山、目が覚めたら昨夜の雨は天に向かつて降つて来たといふようなことは決してなく唾を吐くにしても、天に向かつて吐けば必ず落ちてくるというものであり、そのことを行持の中で知り、身につけてもらったことが大切でありました。緊張と不安の入り交つた眼差しで参加してきた研修者達が、足が痛かろうが痛かろうが理屈を越えて坐り、雑巾がけをしても板の目に添つて拭くという中にも知らず、風呂に入つても一度に十人くらい入れる風呂が四百五十人入つた初日など垢と油と抜毛などを惨憺たる有様であつたり、手洗いのスリッパは脱ぎ散らかし放題、それが、食事は正座をしていただくため、足の痛みからなんとも情無くなるような姿で「地獄の食卓時間」といながらもしかりと、御飯が足らなくなるほど食へ、時の経過と共にそれなりに調つていく情況は、最終日会社側の期待に添える以上に、何故かラララと光る研修者を見送る時、最初人思惑ではなかったことである、最初に迷へた「一切衆生悉く有仏性」といふいのちの働きを信しました。

「坐禅を組む」という実践の型をとる禅という悠久のいのちの在り方は、さらに言葉で代えていうなら、天地宇宙のルールという真実は西からは登らぬ山、目が覚めたら昨夜の雨は天に向かつて降つて来たといふようなことは決してなく唾を吐くにしても、天に向かつて吐けば必ず落ちてくるというものであり、そのことを行持の中で知り、身につけてもらったことが大切でありました。緊張と不安の入り交つた眼差しで参加してきた研修者達が、足が痛かろうが痛かろうが理屈を越えて坐り、雑巾がけをしても板の目に添つて拭くという中にも知らず、風呂に入つても一度に十人くらい入れる風呂が四百五十人入つた初日など垢と油と抜毛などを惨憺たる有様であつたり、手洗いのスリッパは脱ぎ散らかし放題、それが、食事は正座をしていただくため、足の痛みからなんとも情無くなるような姿で「地獄の食卓時間」といながらもしかりと、御飯が足らなくなるほど食へ、時の経過と共にそれなりに調つていく情況は、最終日会社側の期待に添える以上に、何故かラララと光る研修者を見送る時、最初人思惑ではなかったことである、最初に迷へた「一切衆生悉く有仏性」といふいのちの働きを信しました。

「坐禅を組む」という実践の型をとる禅という悠久のいのちの在り方は、さらに言葉で代えていうなら、天地宇宙のルールという真実は西からは登らぬ山、目が覚めたら昨夜の雨は天に向かつて降つて来たといふようなことは決してなく唾を吐くにしても、天に向かつて吐けば必ず落ちてくるというものであり、そのことを行持の中で知り、身につけてもらったことが大切でありました。緊張と不安の入り交つた眼差しで参加してきた研修者達が、足が痛かろうが痛かろうが理屈を越えて坐り、雑巾がけをしても板の目に添つて拭くという中にも知らず、風呂に入つても一度に十人くらい入れる風呂が四百五十人入つた初日など垢と油と抜毛などを惨憺たる有様であつたり、手洗いのスリッパは脱ぎ散らかし放題、それが、食事は正座をしていただくため、足の痛みからなんとも情無くなるような姿で「地獄の食卓時間」といながらもしかりと、御飯が足らなくなるほど食へ、時の経過と共にそれなりに調つていく情況は、最終日会社側の期待に添える以上に、何故かラララと光る研修者を見送る時、最初人思惑ではなかったことである、最初に迷へた「一切衆生悉く有仏性」といふいのちの働きを信しました。

「坐禅を組む」という実践の型をとる禅という悠久のいのちの在り方は、さらに言葉で代えていうなら、天地宇宙のルールという真実は西からは登らぬ山、目が覚めたら昨夜の雨は天に向かつて降つて来たといふようなことは決してなく唾を吐くにしても、天に向かつて吐けば必ず落ちてくるというものであり、そのことを行持の中で知り、身につけてもらったことが大切でありました。緊張と不安の入り交つた眼差しで参加してきた研修者達が、足が痛かろうが痛かろうが理屈を越えて坐り、雑巾がけをしても板の目に添つて拭くという中にも知らず、風呂に入つても一度に十人くらい入れる風呂が四百五十人入つた初日など垢と油と抜毛などを惨憺たる有様であつたり、手洗いのスリッパは脱ぎ散らかし放題、それが、食事は正座をしていただくため、足の痛みからなんとも情無くなるような姿で「地獄の食卓時間」といながらもしかりと、御飯が足らなくなるほど食へ、時の経過と共にそれなりに調つていく情況は、最終日会社側の期待に添える以上に、何故かラララと光る研修者を見送る時、最初人思惑ではなかったことである、最初に迷へた「一切衆生悉く有仏性」といふいのちの働きを信しました。

流し燈籠 水に溶け、無毒・無害で汚染なし!!

◆ 特長 ◆

- 流し燈籠の素材は、すべて水に溶解します。
- 約30分～1時間位水面に浮き、その後3時間程度で完全に溶解します。
- 無毒・無害であり、溶解後も河川を汚染しません。
- 回収の必要がまったくありません。

新しい「水溶性流し燈籠」の登場により、美しい心に残っている風習「燈籠流し」が、復活いたしました。

1基 980円(1箱25基入り)
数量により指定文字の印刷も承ります。
*本品は限定商品ですので、お早めにお申し込み下さい。

株式会社 光和 KOWA
〒251 神奈川県藤沢市辻堂元町2-20-17
TEL. 0466(33)6301(代表)
(36)4111(直通)

人物紹介 此寺に和尚あり

香川県報四恩精舎主 野田大燈師

静岡県石雲院住職 植村正道師

「何故なるか、和尚の家族」

（宗門に衣の似合お坊さんは幾多もおられます。しかし、作務衣に前掛け、手拭いを釣りさげた姿の決まると、この高尾山、龍門山「石雲院」は七年前「道文化学院」の授戒会道場となったが、地理不案内では朝課までその道の強者も山内で大人しくしていたという深山幽谷の地、そういう環境と、正道師の人柄が相俟って春は新入社員研修会場に「足留

五色は高松市の中心地から十数キロ離れた山中、騒音もなく、空気は澄み、少し歩けば眼下に瀬戸内海を見わたすという景勝の地にあります。ここで無一文から出発して十二年、ユニークな道場「暖（か）ぽ」を置きながら定時制高校に編入し、辛酸をなめた「野田大燈師」です。大燈師は昭和二十一年生まれの五人兄弟の長男。中学一年の時、父が中風で倒れ、弟二人を施設に入れてやるとのいざさうです。なんとか定制制高校に通いながら、運転助手、土方などさまざまな仕事をやりましたが、と

めするには持って来い、夏休みに子供供、各種団体等の研修会場に連日大忙しです。

あまり忙しい時は同志会の若手が手伝いに行きますが、百人位の研修会なら、法話、作務の指図等もあるに、この正道師、一人で庖丁を振る、三度の食事も整えてしまうから驚きである。

この石雲院、御開山忌、徒弟、研修開等となる。その道の業障が三々五々集まって、正に静閑第一三同志会の梁山泊となつてしまふ。勿論、正道師は「宋江」と言う事とる。この宋江さんの衣姿というは晋山式、開山忌以外見た事がない。

長老であり、ここに集る者は皆、師に育てられて来た者ばかりである。といつて

うとうとグレて高校四年の二年で挫折したそうである。そんな時、知人の紹介で、松山市の法龍寺（栗田伸義老師）を知り、時折、坐禅に通うようになり、松山市では医療器具の会社に努め、考えるところが、鍼灸の勉強をしよう、と志し、香川県屈指の鍼灸専門学校に入学した。ところが、高校卒の資格が必要といわれ、



個性豊かな

人間育成を

「個性豊かな人間育成を」

と志す。永平寺からの帰途とあって、栗田老師が立ち寄られたその翌昭和四十八年四月八日得度。新居浜市の端寺僧堂で修行しました。四十九年に高松市に戻り本格的に僧侶

として活動を始めるが「まず住む所を」と考え、「樞家」を建てる。以来十年は血のにじむ苦労であったという。現在、暖道場と名づけた「樞家」は千余坪の農道場をそと、麦、野菜などを栽培し常に二十名余の非行児、問題児とともに、食器類も自前の窯で焼く、といはうほどの自給自足の共同生活をしている。付録「財団法人」として許可を受けている。曰く「宗教法にだけしてもよいのですが、その下で活動が限られてしまいます。つまり、県の児童相談所や、家庭裁判所などから、「三か月をいってほしい」といって、三か月に一回の注説法話はじめ、この生活に全

てやまない大燈師に心から応援の拍手を送りたい。

「南無山、合掌中に縁が来る。」で始まるこの本は寺を舞にした物語であるが、単なる小説ではない。寺院生活を描きながら、あかの他人が夫婦になつて家族を作つていく中に、なければならぬものを寺庭を借りて表現した本。といえる。また、僧侶によつて書かれただけに寺に住む者の在り方や、宗教家に対する期待にあふれた本である。

この本に「家族」とは「しん」と来る善人」であり、それは「ガラス張りの生活を心がける」とだ。泣くも笑くも、怒りも喜びも、正直なやつていく以外にはない。後半の老僧夫婦の心の絆、臨終と続く場面は涙して読む。

静岡第三同志会



梁山泊主

「梁山泊主」の言葉をお茶受けすると、心の中で「お寺っていいものだ。俺も頑張りよう」という気がかいてくる。高尾山・龍門山石雲院は静岡第三同志会のエネルギーの補充場所。師寮等に帰る誰かが僧侶の補充に置きかえらる。来年夏に直して「お寺労働者」の言葉をお茶受けすると、心の中で「お寺っていいものだ。俺も頑張りよう」という気がかいてくる。高尾山・龍門山石雲院は静岡第三同志会のエネルギーの補充場所。師寮等に帰る誰かが僧侶の補充に置きかえらる。来年夏に直して「お寺労働者」の言葉をお茶受けすると、心の中で「お寺っていいものだ。俺も頑張りよう」という気がかいてくる。

「南無山、合掌中に縁が来る。」で始まるこの本は寺を舞にした物語であるが、単なる小説ではない。寺院生活を描きながら、あかの他人が夫婦になつて家族を作つていく中に、なければならぬものを寺庭を借りて表現した本。といえる。また、僧侶によつて書かれただけに寺に住む者の在り方や、宗教家に対する期待にあふれた本である。

寺の家族

「南無山、合掌中に縁が来る。」で始まるこの本は寺を舞にした物語であるが、単なる小説ではない。寺院生活を描きながら、あかの他人が夫婦になつて家族を作つていく中に、なければならぬものを寺庭を借りて表現した本。といえる。また、僧侶によつて書かれただけに寺に住む者の在り方や、宗教家に対する期待にあふれた本である。

寺の家族

著 竜 寺

単価 一五〇〇円

東京都大田区池上フナノ十七

発行 水書房

千一四六

図書出版 新製品紹介

「南無山、合掌中に縁が来る。」で始まるこの本は寺を舞にした物語であるが、単なる小説ではない。寺院生活を描きながら、あかの他人が夫婦になつて家族を作つていく中に、なければならぬものを寺庭を借りて表現した本。といえる。また、僧侶によつて書かれただけに寺に住む者の在り方や、宗教家に対する期待にあふれた本である。

「南無山、合掌中に縁が来る。」で始まるこの本は寺を舞にした物語であるが、単なる小説ではない。寺院生活を描きながら、あかの他人が夫婦になつて家族を作つていく中に、なければならぬものを寺庭を借りて表現した本。といえる。また、僧侶によつて書かれただけに寺に住む者の在り方や、宗教家に対する期待にあふれた本である。

「南無山、合掌中に縁が来る。」で始まるこの本は寺を舞にした物語であるが、単なる小説ではない。寺院生活を描きながら、あかの他人が夫婦になつて家族を作つていく中に、なければならぬものを寺庭を借りて表現した本。といえる。また、僧侶によつて書かれただけに寺に住む者の在り方や、宗教家に対する期待にあふれた本である。

「南無山、合掌中に縁が来る。」で始まるこの本は寺を舞にした物語であるが、単なる小説ではない。寺院生活を描きながら、あかの他人が夫婦になつて家族を作つていく中に、なければならぬものを寺庭を借りて表現した本。といえる。また、僧侶によつて書かれただけに寺に住む者の在り方や、宗教家に対する期待にあふれた本である。

福島書房「禅語」

申し込み 千976 相馬市野字寺前

三重書房「禅の筆痕」

著 竜 寺

92×30cm 単価 1,000円

53×38cm 単価 200円

三笠會館

三笠書房のセンター「禅語」は今年六月日あつて「一部の販売を予定するほど県内外にすっかり定着している。内容は昨年の大本山永平寺の修行風景が好評であったので、引き続き「禅の修行」と題し、大本山総持寺を取材とした。写真撮影は本山写真で著名な太田功氏、各写真に伝道句と行事解説を載せている。発行に際し福島書房は独立した作成委員会を設けて対応しているが、今回の委員長は田中俊英師相馬市、普賢寺

本 店 〒104 東京都中央区銀座5-5-17 並木通り TEL 03(571)8181 (欠代)

西 店 〒104 東京都中央区銀座4-2-15 西銀座アパルトメント2F TEL 03(566)4031

東 店 〒104 東京都中央区銀座5-12-8 本州製靴ビル8F TEL 03(541)3505

東 店 新 店 〒104 東京都中央区銀座5-12-6 定立調業ビル1-2F TEL 03(543)3621

向 島 店 〒131 東京都墨田区墨田1-4-54 白鷺会館内 TEL 03(561)0778

新 宿 店 〒160 東京都新宿区新宿3-15-17 伊勢丹余部2F TEL 03(354)1729

駒 込 店 〒251 神奈川県横浜市磯子区沼津1-11-23 TEL 046(34)5851

花 子 小 店 〒104 中央区銀座4-12-1 西銀座アパルトメントB TEL 03(566)4102

フレンド スパ 〒156 世田谷区玉川3-17-1 玉川島島屋SC南館6F TEL 03(709)1278

A restaurant feel at ease

救歩道

養護施設「野の花の家」
園長 花崎みさをさん

「通じている方が一杯いる」

近年、家庭の崩壊現象に遭遇することも珍しくなくなってきた。核家族化、生計困難の多発化に悲嘆と苦悶を覚える者が「難民」の如き取手や「生計困難」の多い地域に逃げて行く切迫的状況に置かれる。助けを求めようとする者があふんできているのも事実だが、一面で、血縁を断れ去つてしまつてしまつたのが社会だ。一人でこれらの子どもの為に養護施設を開いて「難民の先」まで預かりながら生きて行きたい。花崎みさをさんである。

■「野の花の家」開設の動機は何ですか。
「野の花」という名前が付けました。以前、このあたり、一面に野の花で埋まっていた。自然に出て来ましたが、子どもが好きなんでした。ポラントイでも児童センターでね。ポラントイ活動をしています。そのまま福祉の事業団に入りポラントイ養成の仕事をしていました。ところが、いろいろな有名な人にお話を伺ううちに、私自身、何か実践をしないと、と思ひましたね。そんな時、スイスの「ベストロッツチ」どもの村に勤務のお話があつて、大急ぎで独語を勉強し出かけたんです。

■「ベストロッツチどもの村」とは、民間の施設なんですが、ベストロッツチの精神を生かして子どもを預かる国際養護施設なんです。ヨーロッパにも終戦後、多くの孤児がいましたね。この子を救うのは私たちだけだ」という呼びかけにスイスの国民が応えて出来た施設なんです。現在も国の援助も受けないで、国民の支援で運営しているのです。

そこではベストと韓国の子をそれぞれ二十人くらいみましたが、彼等が「アジアにもこういう施設がある」といって痛感していることがわかつたのです。そうだとすると、それを出来るのは日本



里親として、トナム難民の子どもを六人預かりましたね。それからです。開設にはある尊敬する方が協力して下さいました。その時「あなたに力を借すのじゃない、あなたの後ろにいる子どもたちの力を借す」といって下さつて、感激しましたね。私、我がままに、独断なところがあるのですが、むづかしくも思つた傾向があるのです。でも、思つたのですが、それを通させて下さる方が一杯いらつたのです。そのこと、とても有難い思ふんです。

■養護施設の子どもの通は。始める時は、「まさか養護施設」と言われた。四十人の施設がはたして必要か」とも言われました。でも、開設一年でもう満員なんです。

■親の変化 社会の変化
親を育てる必要も
それに、今は以前と違って両親ともいないというは珍しいです。親がいるのに何故施設が必要か」という意見もありますが、親自身が育児を受けた事がないで、自分の子を育てないという環境の子もあるんです。仕事、住所を変える親も多くなつて、この職員の親捜して大変です。今度、集まつてもらつて親の会を開きます。

■お寺への期待。
駒沢では「手を合わせる」とことから教えてもらいましたね。お寺、宗教は関係ない、そのまま過ぎてしまふことも多いものです。ところが、人生には大きな糧となるのです。人には色々な対象があります。たとへば若い人、男、女、興味を持つていること。そんな人達のためにはいろいろな窓口が必要なんです。誰でも入れるようになり、口がなつていいです。

お寺の間も通を通る子どもが声をかけていく、これは現代の寺院活動ですね。と話す、お寺が通つて来た、駒沢大学では児童教育部で活躍し全国の寺々を巡回した経験もある、寺院の活動もよく存知だけに僧侶への期待も大きい。会員諸君「野の花の家」出身という子が来たらず門を大きく開いて下さい。

青年会活動の問題点

- ◎活動内容について
全日本仏教青年会（以下全日ニ青）が目的としていた「仏教運動の展開」の中に仏教文化の宣揚と世界平和の進展に寄与する一事項がどのよう展開されているか、事業の内容から摸索してみたい。全日仏教青年会第四会には目的達成のため、次の事業を行うことが掲げられている。
1. 加盟仏教青年会相互の友好研鑽のための連絡提携
 2. 各種大会の開催
 3. 機関誌、パンフレット等の発行
 4. 未加盟仏教青年会の加盟促進
 5. 仏教青年会設立助成とその育成
 6. 仏教青年会館の建設
 7. 社会への奉仕活動
 8. 国際親善及び仏教文化交流
 9. その他目的達成に必要な事業
- かなり具体的な事業例が掲げられてあり、しかも連大且つ国際的のスケール構想で、設立当初の意気込みが伺える。日本全国の仏教青年相互の友好を図りながら真の団結がなされれば実現可能な事業計画でもあろう。
- では、六十年度における全日仏教青年会はどうであったか、報告書から抜粋する。
- イ、未加盟仏教青年の加盟促進と育成のよびかけ
（全真言宗青年連盟、真言宗霊雲寺青年教師研究会加盟）
ロ、加盟仏教青年の情報交換と交流の促進（機関誌の発送等）
ハ、各種団体との交流

全日本仏教青年会の現況を探る② 多くの事業を展開 曹洞宗ボランティア会へも補助金

（日本宗教青年会福岡大会に五名、鴻巣地区仏教研究会の講演会に参加）
全日仏の各種行事への参加協力（ルンビニー復興協力費の支払い、全日本仏教会会議場大会に参加、部落解放基本法制定を求める宗教者総決起集会に参加）
ホ、機関誌「全日仏教青年」第十四号の発行
ハ、世界仏教青年会議（WFBY）諸行事への協力と国際交流の推進
（世界仏教青年セミナー台湾に三十三名参加、マレーシア仏教青年会十五名参加、タイに六名参加）
ニ、国内への災害・難民等の救済活動の実施
（日本テレビ、愛媛県地球を救うに寄贈、地球を救うに寄贈、ユニセフ事業についての資金つくり）
と多くの事業が実施されています。

五十九年度にはユニセフと連携してアジアの子供たちが待っている、水、健康を「教育」のテーマのもとに募金活動を開始し、千二百五十万円（五万ドル）の浄財をビルマ夜間小学校に授けました。また、救済金として寄贈したピクニックも実現しました。

残念ながら全日仏教青年会への加盟促進に不参加であるのは遺憾に耐え、更には曹洞宗が世界に誇る「曹洞宗ボランティア会」の活動に全日仏教青年会の支援、協力があるのも全曹青年に伝えたいことであらう。ボランティア活動学習等を通して現地へ会員派遣する外、多額の援助金も届けられているのである。（Y）



去る七月六日夕刻、新野 俊藏(光徳)師が交通事故により急死された。享年四十九歳。

師の人徳を慕う者にとっては、あまりに突如の悲しい出来事であった。

師が博林先生の出身として、私共青年宗匠にとっては無難、広く宗門にとってはおかけがえのない存在であったことは、そのお人柄を知る者にとって全く異存はないであろう。

新野光亮師の遺徳を偲ぶ

千葉県曹洞宗青年会
会長 武長 英俊

それだけ僧俗を問わず、多くの方々から敬慕せられた。愛宕護法の遺念に生かされた。また、福井県に受け、二十歳過ぎからの御出家。発心寺僧堂掛。さらには駒沢大学にて博士課程まで進まれた。北村大老師に嗣法やがて御本山安居、宗学研究所等々、まさに修行一如、実修実究の御精進であった。それ師の奥様からお聞きした所によると、生来の四大不調を患いながらのことであった。由とてい、頑然を払うが如き道心なくは持続できるところではある。

一期一会の縁を大切に、自ら厳しく、他には極めて御親切、寛容なお方であった。

五十六年、縁あって当県君津市郊外徳常寺の御住職となられて以来、御慈慮あふるる御指導を賜った。千葉県にとつて

も良き中堅指導者を得て、今後の御活躍を大いに期待していたことは、県内諸老師の一致する所であった。

師が青山なされた頃の徳常は本堂床敷も抜けんばかりの状態であり、檀家も不滿二十という苦しい状況であった。

やがて師は、托鉢行脚を始め、奥様と力を合わせて子供、坐禅会等を開くなど、お忙しい日程をこなしての御教活動を展開され、わずか五年にして本堂改築というところまで進められた。

この七月全願の本堂も派に建立し、さそく仏教講演会を開くなど、御満足こそな微笑をたたておられた。

その随喜樂でうまはずだつた本堂も、山王の密葬という悲しみの場となってしまったのである。

以上はなほだ略記ながら御報告申し上げます。師のやさらかな御冥福を祈念するとともに、千葉県曹洞宗青年会一同、慈悲に報いべくさらに努力してまいります所存であります。

合掌

スリランカ仏教遺跡研修の旅

●日程変更のお託びとお願い●
期日／昭和62年1月26日(月)～2月2日(月) 8日間

護啓
時下益々ご清栄の致よろこび申し上げます。

さて、全曹青が企画いたしました「第八回 禅文化学林スリランカ仏教遺跡研修の旅」は、当初十一月間の日程(一月二十六日発)二月五日帰着)にて計画し、ご案内、募集を行ってまいり、既に六〇名の申し込みをいただいておりますが、この際エアランカ航空に突然のスケジュール変更があり、日程の変更を余儀なくされました。ここに新たな日程について再募集することになりましたので、お託びご方お知らせ申し上げます。

立案当初、エアランカ航空は週一便(月・木曜発)スリランカ直行便を飛行しておりましたので、十一日間の日程を組みましたが、この度月曜日発着のみの週一便に運行体制が変更され、八日間もしくは十六日間の日程しか認めなくなりました。他の航空会社利用も検討いたしましたが、(座席確保・航空運賃等)に無理が生じ、止むを得ず八日間コースとなつたのが変更理由であります。

新しい日程は八日間に短縮されましたが、

丹羽康芳師現下の巡錫には変更ありませんし、スリランカの代表的な仏跡、キャンデー、シギリア、ポロンナルワ、アヌラダプーラ等の巡錫は予定通り実施いたします。また、南海のリゾート、ヒッカドゥワでの休業日なども折り込み、当初の研修目的を達成させるため、特設の配慮を致しました。

何かご不満の点があらうかと存じますが、上記事情を察下さし、まして日程変更をご了承賜りました。お預り申し上げますと共に、多数の方々がご参加下さいますよう重ねてご案内申し上げます。

昭和六十一年九月十日
全国曹洞宗青年会会長 吉岡棟憲

●研修主要主催●
全国曹洞宗青年会
曹洞宗宗務庁・大本山永平寺
大本山総持寺
協賛
日本スリランカ仏教友好協会
エアランカ航空

〈大阪発着〉285,000円・〈東京発着〉275,000円(全食事付、添乗員同行)

●日程

日程	月日(曜)	発着地名	時刻	交通機関	備 考
1	1月26日(日)	大 阪 発	午後 20:55	U.L.-453	午後、大阪を出発。東京へ。18:30成田空港集合。(横田式後、空路スリランカの首都コロンボへ。(機中泊))
2	1月27日(火)	コロンボ着	04:15		着後、ホテルへ。午前中、休業。午後、コロンボ市内観光。政府夜散歩時間、現地仏教会との交流。(コロンボ泊)
3	1月28日(水)	コロンボ発 キャンディー着	09:00 12:00	特別バス	特別バスにキャンディーへ。午後、キャンディー市内観光。(仏南寺特別参拝、植物園等)夜、キャンディアンダンス観賞。(キャンディー泊)
4	1月29日(木)	キャンディー発 シギリア ポロンナルワ アヌラダプーラ	08:30 11:30 12:30 18:30	特別バス	特別バスにてシギリア観光後、ポロンナルワへ。午後、ポロンナルワ観光。(ガル・ウィハハラ、ランカティラカ等)後、アヌラダプーラへ。(アヌラダプーラ泊)
5	1月30日(金)	コロンボ着	18:30	特別バス	午前、アヌラダプーラ観光(スリランカ博物館等)。午後、特別バスにてコロンボへ。(コロンボ泊)
6	1月31日(土)	コロンボ発 ヒッカドゥワ着	10:00 12:00	特別バス	特別バスにて海澄リゾート・ヒッカドゥワへ。午後、自由行動。夜サヨナラパーティ。(ヒッカドゥワ泊)
7	2月1日(日)	ヒッカドゥワ発 コロンボ着	14:00 18:15	特別バス	午前、自由行動。午後、空路、帰国途へ。(機中泊)
8	2月2日(月)	東京(成田)着 大 阪 着	07:40 18:30	特別バス	着後、通関手続きを終え空路にて帰航。

(申し込み・問合せ) 全国曹洞宗青年会 (東京都港区芝2-5-2曹洞宗宗務庁内) 又はよりのピース観光へ

事務局だより

◆合同委員会を開催

九月二日・三日にわたり宗務庁で組織事業研修、広報の各委員会を合同で開催しました。各委員会からの報告簡要は次の通り。

(組織委員会)
・団体加三十三団体
・今期すすめていく団体加入については各曹青で徐々に理解いただけました。
・名簿作成
・八月二十日までに「曹洞宗青年会全国会員名簿」を発行。未加入団体からも名簿の提出は受け付け。

(広報委員会)
・研修会が十二月五日に高野山で開催されるので全曹青としても代表を派遣する。(広報委員会)
・今回より北海道曹青にも個人あて発送をする。

新会員名簿で発送

今回の会費発送より各曹青より提出された新住所を使用しています。間違い等ありましたら各曹青年会事務局または直接全曹青までお知らせ下さい。

現在預貯金金利は戦後最低です。

資産運用のお手伝い (積立・貯蓄型損保)
ビッグな満期返礼金+配当金

- 今、注目の財テク、節税商品(税金面でも安心して)
- 寺院及び個人財産形成にお役立て下さい。
- 寺院専従者、幼稚園、保育園の従業員への「福利厚生退職金制度」(積立機能) (補償機能) (貸付機能)
- 退職金制度の確立+従業員災害見舞金制度+小口融資制度

*境内管理のみの施設賠償保険もご利用下さい。
境内における参詣者、子供への不慮の事故や物損に対する保証

寺院運営のお手伝い(設備、不動産他)

現代寺院サービス

(現代保険サービス)大蔵省登録No.052400303
千160
東京都新宿区高田馬場3-33-5大野ビル2階

電話 03-360-7081(代)

ファックス貸出制度有ります

ご寺院 FAX